

## 2 2 集客資源の創出と充実

### ○きらめき守谷夢彩都フェスタ支援事業（経済課） 2,623 千円（2,623 千円） 予算書 P167

[一財：2,623 千円]

#### （目的及び期待する効果）

9月に守谷駅西口駅前広場で、商工業者や市民のPRの場として開催する。市内外へ定着した祭りとなっており、イベントを開催することにより、特産品、開発商品、観光資源等の地域振興が期待できる。

#### （内容）

平成22年度から商工業の発展を目的とする「守谷市商工まつり」と協働のまちづくりの一環である「きらめき守谷夢彩都フェスタ」を統合し、守谷駅西口駅前広場を会場に「守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～」として開催している。

会場では、和太鼓やよさこいソーラン踊りなどのステージ、お楽しみ抽選会等の催しのほか、地元特産物や地域産業を支える企業・組合等の出展ブース、ビアステーションなどの多彩なイベントを実施する。

### ○MOCOフェスタ支援事業（経済課） 1,000 千円（新規事業） 予算書 P167

[一財：1,000 千円]

#### （目的及び期待する効果）

5月に守谷駅西口駅前広場で、企業と市民の交流の場として開催し、企業、市民が一体となって守谷市を盛り上げていくことを目的とする。

#### （内容）

企業、市民ボランティアが主体となって実施するイベント。

ステージで踊りなどの発表、ブースでの企業や守谷市のPRや特産品の販売を実施する。また、平成26年度はMOCOフェスタマスコットキャラクターの発表を実施する。

### ○守谷ハーフマラソン開催補助事業（生涯学習課） 2,000 千円（3,000 千円） 予算書 P231

[一財：2,000 千円]

#### （目的及び期待する効果）

守谷ハーフマラソンに大勢の皆様に参加してもらうことで、幅広い年齢層の人々に健康増進をもたらすとともに、全国からの参加者に守谷市のすばらしさをPRする。また、大会運営に多くのボランティアの方々が参加しており、市民相互の交流を深める機会になっている。

#### （内容）

守谷ハーフマラソンは、ハーフ・5km・3km・2kmの4種目があり、年齢・男女別に24部門に分かれている。全国各地から参加者が集うことから、守谷市のPR手段としても一翼を担っている。主催運営を担う守谷ハーフマラソン実行委員会に補助金を支出するものである。